

令和元年6月18日発生の「山形県沖地震」への対応についての集中審査

総務常任委員会
石黒委員●鶴岡市が県と一緒に被災家屋の補修を支援するという報道がありました。県の対応は、防災くらし安心部長●地震発生後、直ちに市長と意見交換をしています。地元のニーズを踏まえて政府に要望していきたいと考えています。
石黒委員●今回の地震で津波被害はないが、酒田市の飛鳥における避難行動はどうでしたか。
防災危機管理課長●飛鳥の西に

あるF30断層が動いた場合は、飛鳥で震度7の強い揺れが発生。+20cm高の津波が1〜3分で、最高水位10.8mの津波が13分で飛鳥に到達すると想定。想定到達時間が極めて短いので、住民の防災意識は非常に高く、常時居住している150人のうち、100人程度が避難し、また互助機能もしっかりと発揮されました。酒田市ではアンケートを行い、検証を進めるようです。

石黒委員●飛鳥の避難路は急な坂道でした。高齢者はどうだったのか、その点もアンケートをしてほしい。今回の避難状況をデータとして把握して、検証はどう進めますか。
防災危機管理課長●アンケートの結果を受けて検証します。まずは被災状況を把握し、復興・復旧に向けた取り組みを実施して、しっかりと検証し、対策を講じていきます。
石黒委員●津波災害警戒区域を指定している遊佐町は、どうですか。

防災危機管理課長●避難状況は約30人が避難したようです。他の地区でも早くから避難したと聞いています。遊佐町は、津波災害警戒区域の指定を行い、東日本大震災などの教訓もあり、町民の防災意識が高く、自主的な避難に結びついたと町長から聞いています。また、遊佐町は自主防災組織の組織率が100%となっており、津波を想定した避難訓練など、日頃からの防災対策の効果もあったと考えています。

石黒さとる
活動日誌



総務常任委員会 県内現地調査(酒田市)
酒田市とプレスステージ・インターナショナルが締結した「移住及び女性活躍等の推進に関する連携協定」を現地調査。

酒田市議会議員の皆様と県外現地調査(香川県)
高松市防災合同庁舎にて、「香川県広域水道事業について」調査。全国的にも珍しい全県で一つの広域化が実現。

県政クラブの県内現地調査(酒田市)
庄内総合支庁水産振興課と酒田北港において、「漁業振興」「国際ターミナル岸壁延伸工事の現状」などを現地調査。

国土交通省などとの5県合同意見交換会に出席(東京都)
道路の整備などに関する国土交通省などとの5県合同意見交換会に出席。その後、国土交通省、財務省へ要望活動。

令和元年6月18日(火)、山形県沖を震源とする地震被害への対応に関する主な9月補正予算(山形県)
県土整備部●山形県沖を震源とする地震被害への対応(港湾施設「鼠ヶ関港」災害復旧事業の追加)……………1億1,810万3,000円
商工労働部●被災者への支援(被災中小企業・小規模事業者への支援)……………7,500万円
子育て推進部●社会福祉施設等の災害復旧への支援(保育所の災害復旧に対する支援)……………81万6,000円
健康福祉部●社会福祉施設等の災害復旧への支援(老人福祉施設及び障がい福祉施設の災害復旧への支援)……………706万2,000円

将来のあるべき医療提供体制を構築する「日本海ヘルスケアネット」について

決算総括質疑 石黒党・議員／質問●

地域の医療提供体制は、民間病院も含めて考えていく必要があると、私は思います。例えば、私の居住する酒田市では「地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構」が核となって、医師会、歯科医師会、薬剤師会、民間を含む医療法人、介護関係法人などが地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」を設立し、民間も含めた地域医療の未来を切り拓くために挑戦をしています。私は、今日的な意義が高い取り組みと評価しています。県は、この取り組みをどのように評価していますか。また、この取り組みは全国の先進事例でもあり、

地域の医療提供体制を確保していくうえで有効な手段の一つと考えます。健康福祉部長の考えを伺います。

健康福祉部長／回答●

県では、「地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構」が中心となり、平成30年4月に全国で5番目の地域医療連携推進法人として「日本海ヘルスケアネット」が設立されました。地域医療連携推進法人とは、医療機関相互の機能の分担及び業務の連携を推進するために平成29年度に制度化されたもので、令和元年8月末現在、全国で13法人が設立されています。「日本海ヘルスケアネット」では、これまで法人内の医療機

関や福祉施設の連携による様々な取り組みが行われています。例えば、法人内において、日本海総合病院から他の病院に対して医師を派遣したり、また、介護施設に対して看護師を派遣するなどの取り組みや、経営の効率化や医薬品の適正使用を目的として、患者にとって有効で安全な薬剤の検討・選定などを進めており、この法人以外にも活用できるような運用を行っています。また令和元年度外にも活用できるような運用を行っています。また令和元年度外にも活用できるような運用を行っています。また令和元年度外にも活用できるような運用を行っています。

療・介護資源の有効活用の中から非常に意義のあるものと考えています。今後も庄内地域における将来のあるべき医療提供体制の実現や、限られた資源を活かした医療・福祉の連携体制の構築、そして医療・介護人材の確保が図られるものと期待しています。同様の法人は、米沢地域においても現在設立の動きがあり、関係者で調整が行われています。この制度は、地域のコンセンサスが前提となるもので、制度を活用できるかどうかは地域の実情によって異なると思います。

今後、人口減少が進むなか、県は、このような取り組みを、医

地域の将来を見据え、地域の課題を共有し、持続可能な医療提供体制を検討していくことは重要であり、県は各地域における同様の検討・議論を促したいと考えています。

皆様のご意見、ご要望をお気軽にお聞かせください。

皆様からいただいた県政に対する意見、感想や、お困りのこと。そして、未来への願いなどは、今後の県政の質疑や政策づくりに優先的に生かしていきます。

山形県議会議員 石黒 寛
事務所●〒999-6711 山形県酒田市飛鳥234-2
Tel.Fax.●0234-52-2862
URL.https://www.isiguro.net/ E-mail. satoru@isiguro.net

Satoru Ishiguro's Press

発行日●2019年12月吉日
発行人●山形県議会議員 石黒 寛
事務所●〒999-6711 山形県酒田市飛鳥234-2
Tel.Fax.●0234-52-2862
URL.https://www.isiguro.net/
E-mail. satoru@isiguro.net
公式Facebook●
https://www.facebook.com/satoru.ishiguro.5
公式Twitter●
https://twitter.com/isiguro_satoru

●Vol. 17

令和元年8月9日(金)、庄内総合支庁と酒田市教育委員会の職員や樹木医の先生とともに、県指定天然記念物「山楢の大榎」を現地調査。枝が民家の屋根に覆いかぶさるように伸びていましたので、木の特徴や樹勢、剪定の方法、今後の管理について話し合いました。

令和元年10月25日(金)、県議会会派の県政クラブとして、台風19号の被害を受けた方々の支援を求める要望書を吉村美栄子知事に提出。知事は「復旧への課題は多いが、政府と連携しながらできる限りのことをしていく」と応えてくれました。

令和元年6月2日(日) 早朝、庄内海浜美化ボランティア月例清掃と日本財団海ごみゼロウィークによる酒田港大浜海岸の清掃活動に参加しました。さわやかな潮風に心が洗われました。

山形県議会議員 石黒 寛

石黒さとる 希望への懸橋 県政報告



ふるさとから 地方再生、元氣発信

所属委員会(令和元年度)

- 総務常任委員会
- 産業振興・人材活用対策特別委員会(委員長)
- 予算特別委員会
- 議会機能強化推進会議(副座長)

議会日程(令和元年度)

- 令和元年5月臨時会
会期●5月22日(水)～28日(火)、7日間
- 令和元年6月定例会
会期●6月13日(木)～7月2日(火)、20日間
- 令和元年9月定例会
会期●9月13日(金)～10月4日(金)、22日間
- 令和元年12月定例会
会期●12月3日(火)～20日(金)、18日間

- 総務常任委員会(令和元年度)
開催日●5月27日(月)、6月27日(木)、6月28日(金)、7月2日(火)、8月21日(水)、10月1日(火)、10月2日(水)、11月7日(木)、12月17日(火)、12月18日(水)

- 総務常任委員会・現地調査(令和元年度)
開催日●7月29日(月)～31日(水) [県内現地調査]
8月27日(火)～29日(木) [県外現地調査]

- 産業振興・人材活用対策特別委員会(令和元年度)
開催日●5月27日(月)、7月1日(月)、8月22日(木)、10月3日(木)、11月8日(金)、12月19日(木)

- 産業振興・人材活用対策特別委員会・現地調査(令和元年度)
開催日●11月28日(木) [県外現地調査]
11月29日(金) [県内現地調査]

- 予算特別委員会(令和元年度)
開催日●5月27日(月)、6月21日(金)、6月24日(月)、6月25日(火)、9月25日(水)、9月26日(木)、9月27日(金)、12月11日(水)、12月12日(木)、12月13日(金)

- 決算特別委員会(令和元年度)
開催日●10月23日(水)、10月25日(金)、10月28日(月)

- 庄内地域議員協議会(令和元年度)
開催日●7月25日(木)、11月15日(金)



師走の候、皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、私の県議会活動に對しましてご理解をいただき、心より感謝を申し上げます。今年六月一八日、震源地・山形県沖、震源の深さ一四、地震の規模がマグニチュード(M)六・七の地震が発生。建物被害は九一二棟、農林水産被害額は一億九、二〇〇万円に上りました。この地震被害への対応として県議会は、四億二、七〇〇万円の六月補正予算と、二億〇、〇九八万円の九月補正予算を可決しました。また、一〇月一三日未明、台風19号が本県に接近。この被害額は、道路や河川、農林水産関係などを含めると、五五億七、〇〇〇万円に上ります。県議会会派の県政クラブは、一〇月二五日に被災地支援措置を講じ、被害の検証結果を予算に反映させることなどを盛り込んだ要望書を吉村美栄子知事に提出。知事からは「農林水産分野など復旧の課題は多い。政府と連携しながらできる限りのことをしていく」との回答をいただきました。遊佐町にいよいよ、初めての高速道路が開通します。日本海東北自動車道(日東道)の酒田みなと・遊佐比子(仮称)区間が、二〇二〇年度に開通予定。沿線住民の悲願である日東道の全線開通に向けて、大きく前進します。さらに五月二一日、県と産官学機関が遊佐町で進めてきた陸上養殖の「サクラマス」が、シンガポールに初輸出されたことに加えて、一〇月二日には、「庄内北前ガニ」の初競りが行われました。今後の新たなブランド化に、ますます期待が高まります。

近年の自然災害は、言葉で言い表せないほどの甚大な災害ばかりです。過去のデータが基準となつて考えられているこれまでの想定では、全く予想できない規模の災害発生に驚くばかりです。次の世代に「安全・安心」で持続可能な未来をバトンタッチするために、一つひとつ丁寧に全力で取り組みを展開していきます。今後も、よろしく指導くださいますようお願い申し上げます。どうぞ、良いお年をお迎えくださいますようお願いいたします。